



平成20年10月30日

各 位

会 社 名	ニチコン株式会社
代 表 者 名	代表取締役会長 武田 一平
コード番号	6996 東証・大証・名証第一部
問 合 せ 先	執行役員IR室長 河辺 喜代一
電 話	075-231-8461

### 導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ事業の譲り受けに関する基本合意について

ニチコン株式会社(本社：京都市中京区、会長：武田一平、以下 ニチコン)はこのたび、富士通メディアデバイス株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：田中泉、以下 富士通メディアデバイス)が保有するキャパシタ事業を譲り受けることで基本合意に達しました。富士通メディアデバイスは、中国蘇州市に設立した富士通多媒体部品(蘇州)有限公司において導電性高分子アルミ固体電解コンデンサの生産を行っておりますが、ニチコンは開発、製造、販売に関する当該事業を譲り受け、中国での導電性高分子アルミ固体電解コンデンサの生産を開始いたします。

ますます裾野の広がりを見せているマルチメディアの進展とともに、デジタル機器に使用される電子部品は小形化、高機能化、高信頼性や高周波対応が強く求められています。ニチコンはこうした顧客ニーズに応えるため、コアビジネスであるアルミ電解コンデンサ、タンタル電解コンデンサ、回路製品の開発投資や増産投資等を中心に中長期的展望に基づき経営資源を集中投下しておりますが、本譲り受けにより、既にアルミ電解コンデンサ、回路製品の生産を行っている尼吉康電子(無錫)有限公司と合わせて一層充実したアルミ電解コンデンサの中国生産体制が確立できます。

ニチコンは近年、資本効率を高め筋肉質で強靱な企業基盤を構築し、持続的な企業価値の向上を図るとともに、伸長が期待される最先端のエレクトロニクス機器に対応し、デジタル化、高機能化、環境対応などの顧客ニーズを捉えた新製品の市場への投入を加速させてまいりました。本件は、その事業戦略をさらに強化するものと位置付けられます。

パーソナルコンピュータをはじめ、ブルーレイディスクや薄型テレビ、高性能家庭用ゲーム機等デジタル機器の急速な浸透に伴って世界の導電性高分子アルミ固体電解コンデンサの需要は今後一層の増加が見込まれる中、ニチコンは本譲り受けにより導電性高分子アルミ電解コンデンサの生産能力とマーケットシェアを大幅に拡大し、益々発展が期待される中華圏マーケットを中心に全世界の顧客ニーズに迅速に応え、顧客満足度のさらなる向上を目指してまいります。

以上

【富士通多媒体部品(蘇州)有限公司の概要】

商号	富士通多媒体部品(蘇州)有限公司
所在地	112 Sutong Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu, 215021, China
董事長兼總經理	小崎 良一
設立	1995年3月6日
資本金	43,050,000 USD (2008年9月末日現在) (富士通メディアデバイス株式会社 100%出資)
事業内容	キャパシタ(導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ)の開発・製造・販売
敷地面積	26,900m <sup>2</sup>
建屋総面積	25,110m <sup>2</sup>

